

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境								3.2
1 音環境		3.0	0.15	2.8	1.00			2.8
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	2.6	0.50			
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	2.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		1.6	0.35	3.0	1.00			2.8
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	1.00			
2.1.1 室温		3.0	0.63	-	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		1.0	0.38	3.0	1.00			
2.1.4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.5	0.25	4.0	1.00			3.7
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50			
3.1.1 昼光率	共用部:6.00%確保 住居部:3.30%確保	5.0	0.60	5.0	0.50			
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御	住居部:カーテン+庇(バルコニー)	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.2.3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.6	0.25	3.3	1.00			3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	F 建材の採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
4.3.1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.8
1 機能性		3.4	0.40	2.2	1.00			2.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		-	-	-	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00			
1.1.3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準(最低レベルを)満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.5	0.40			
1.2.1 広さ感・景観	天井高2.50m以上確保	-	-	4.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
1.2.3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性	耐震等級2	4.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当	5.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:水道用硬質塩化ビニリング鋼管(B)、排水:硬質塩化ビニル管(B)、(E)は不使用	5.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1	空間のゆとり		-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	1)道路側の建物高さを抑え、圧迫感を感じさせないようにしている 2)植栽により、良好な景観を形成している 4)地元産材である桧縁甲板を外装材に採用	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1	建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用		3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備の採用	4.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	LED照明、潜熱回収型給湯器の採用	4.8	0.40	-	-	4.8
	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!	5.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		4.8	-	-	-	
4	効率的運用		-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		2.2	0.15	-	-	2.2
1.1	節水		1.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	PS配管、床コロガシ配管の採用により、内装材と設備が錯綜しな	4.0	0.24	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出量を参照値の約70%に抑制	4.2	0.33	-	-	4.2
2	地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制)1)駐輪台数42台設置、)1)駐車台数9台、)2)荷捌スペースの確保	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害・砂塵・日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストの過半を満たす 広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	